

自分の明日を考える ～ひとり暮らしの在宅療養～

皆さんは、ご自身が医療や介護が必要になったとき、どこでどのように過ごしたいかを考えたことはありますか。また、人生の最期はどのように迎えたいでしょうか。

可能な限り家で過ごしたい・最期は住み慣れた家で…思っている、本当にできるのだろうか？と不安に感じる方もいらっしゃるかもしれません。

今回は「ひとり暮らしの在宅療養」をテーマに、練馬区で在宅医療に携わっている医師の方にお話いただきます。ぜひ、お申し込みください。

講演会日時

令和7年12月6日(土)

14:00～15:45 (受付 13:45～)

後日上映会も
あります！

申込開始日

令和7年11月11日(火)から

※会場・申込み方法など、詳しくは裏面をご覧ください。→→→→

※受付開始日前のお申し込みは、お受けできません。

※申し込み初日は、お電話がつながりにくいことがございます。予めご了承ください。

講師

医療法人社団 焰
やまと診療所 練馬
水落 紀世子 氏(医師)

講師経歴・挨拶

練馬区生まれ、練馬区育ちです。練馬の広い空のおかげで想像力や包容力が養われたように思います。
東京女子医科大学卒業後、同病院循環器内科として勤務し、循環器内科専門医を取得。2児の母となり、育児と仕事の両立をはかりながら、2017年、40歳の節目の時に在宅医療の道へ進み、在宅医療専門医を取得。
患者さん、ご家族と真剣に向き合い、地域の皆さんと一緒にご支援できるのが喜びです。多職種の支援を受けられる在宅医療では患者さんに複数の選択肢をご提案でき、自由度が高く感じます。安心して地域の方々がご自宅でご自分らしく過ごせるよう、お役に立てれば嬉しいです。